

令和5年度

自己点検・自己評価報告書

石川県理容美容専門学校

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

本校は、建学の精神「常に誠の精神を忘れず、品性を磨き、学業の進歩の推進をはかり、規律ある自治的校風をして、充実・発展を図る。」と校訓「誠実と規律」を重んじ、心身を鍛えることで、秩序ある社会生活と理美容関係職の未来を創造出来る人材の育成を命とする。

更に、教育理念「逞しい心で社会に貢献出来る人材の育成」を掲げ、以下の5つの逞しい心、

- 自立・・・自分の考えを持ち表現できる力
- 連帯・・・集団の中で自分を活かせる力
- 創造・・・営みの中で創意工夫が出来る力
- 堅忍・・・我慢強くこらえる事が出来る力
- 誠実・・・常に人の為になる事が出来る力

の育成に取り組んでいる。

また、学生が自らの目標を掲げ、努力を積み重ね、やり抜く事により達成感を実感できる教育を旨とし、以下の4つの教育を特色としている。

- 1、革新と継続・・・社会の変化に基づいた新しい視点の着眼の実行
- 2、心情教育・・・人間関係からなる自問自答
- 3、個性の尊重・・・活躍できる表現の場（自らの意見を団体で活かせる）
- 4、三位一体の教育・・・教員・学生・保護者による連携

本校は「生きる力」、「自分で考える力」を基本とし、知識を一方向的に教え込むことになりがちであった教育から、学生たちが自ら学び、自ら考える教育への転換を目指し、小学校から高校まで、教育機関で見落とされてきた部分に視野を向け、より多くの可能性のある学生を、社会に羽ばたかせることができると自負している。

三位一体（教員、学生、保護者）の教育体制の中で、保護者参観日を通し、保護者の役割と学校側の役割（やり抜く力や達成感が実感できる授業内容）の重要性、同じ方向を向いている大切さをしっかり伝えている。

学校が考える職業教育の特色とは、ただ就職するだけではなく、生涯にわたって、より良い人生を送ることであると考え、最近では、関連企業から派遣される非常勤講師等が教育上の重要な役割を担っていることから、関連する業界、企業等との密接な連携に基づく教育プログラムをより一層強化していかなければならないと考えている。

評価項目		適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		④	3	2	1
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2	1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1

1-3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか	④	3	2	1
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

カリキュラムや授業内容を見直し、現代に合致した内容となるよう常に検討している。業界のニーズを収集することはできているものの、それをすぐにカリキュラムに反映させるのに時間がかかっていることが課題である。しかし、業界の求める内容に適応できる人材を育成するために、科別会議や学年会議を通じてより迅速に対応していきたいと考えている。

今後予想される少子化や特定分野の希望者の減少に対して、中長期的に体制を強化することが重要である。

基準2 学校運営

学校運営においては、教職員組織のトップに校長を置き教務、事務で構成されている。

また学校運営を円滑に推進するため、毎月「行務会」を設置し事業計画を進めている。構成員は、理事長、校長、事務局長、教頭、各主任としている。

運営組織や意思決定等については、寄附行為や学則、及び本校組織図・文書等に示され、円滑に運営されている。

人事や給与に於いても、本校就業規定および給与規程に基づいて明確に定められ、教職員にも周知され、適切に運用されている。

年間を通して定期的に理事会、評議委員会、経営委員会が開催され教務、財務の状況報告、意思決定を実施している。

業界や地域社会等に対する法令順守については、財務等の決算、組織整備など重要事項について、理事会、経営委員会で協議をし、評議委員会に報告をしている。また、本校の教育活動に関する情報はホームページで公開している。

	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
2-6	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
2-7	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
2-8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
2-9	人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
2-10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1

2-11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
2-12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
2-13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

事業計画を進めるにあたり、学校理念および教育理念に照らし合わせて作成している。また、諸規程等の見直しや整備も行っているが、職員会議等を通じて教職員の意識をより一層統一していく必要がある。

学生指導では、コンプライアンスの徹底を指導することが課題である。

【特記事項】

入学希望者情報一元管理、キャリアマップ（就職管理）の導入

基準3 教育活動

（目標の設定・教育方法・評価など、成績評価・単位認定、資格・免許取得の指導体制、教員・教員組織）

本校は教育理念や教育の特色及びその目的・目標を明確にし、その実現に向けて運営方針を策定している。さらに定期的な教職員同士のディスカッションを通し、必要がある場合は計画を軌道修正し理念に向けて進んでいる。

教育到達レベルについては、年間カリキュラムの編成と、それに従ったシラバスの作成により明確にしている。さらに3科の特色を活かしたカリキュラムの編成となっている。

本校は業界の現状と動向など、学生のニーズにも考慮した実践的な職業教育に努めている。また企業や業界団体の講師による授業も実施している。

成績評価は、客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に努め、学科試験、技能試験の成績評価を点数化している。

授業科目の成績評価は、学年末において、各学期ごとに行う試験、実習の成果、履修状況、出席時数等を勘案して行う。卒業・進級の認定基準は、出席状況を把握し十分な補講を行った上で、出席状況が不良なもの（所定の履修時間に達しない者）、実技・学科の追試験において1教科でも不合格な者については進級及び卒業を認めない。

理容師・美容師国家資格、CIDESCO 国際ライセンスは必要不可欠な資格であるが、その他メイク、ネイル、着付け、まつ毛エクステンション、エステティック等の資格取得にも、授業の一貫だけに止まらず組織的にサポート体制を整えている。

各学科とも厚生労働大臣指定の理容師美容師養成施設として、実務経験の要件を備えた教員を確保し、

その資質能力の絶えざる向上を図るため講習や研修等の受講を奨励している。

外部講師による定期的な講習により新たな教育環境サポート体制を構築している。また、教員の講習や研修等の受講は確認チェックし、適宜に奨励している。

	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
3-14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
3-15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
3-16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
3-17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
3-18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
3-19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
3-20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
3-21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
3-22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
3-23	資格取得等の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
3-24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
3-25	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
3-26	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
3-27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

カリキュラムの内容については、即戦力養成講習会の参加や業界など外部者の意見を反映させながら、各学科の目標達成に向けて十分な内容でかつ体系的に編成されるように常に見直している。また、指導項目、内容、目標を示したシラバスを作成しているが、さらに整備し、完成させていくことが課題である。今後は、関連業界との交流を深め、ディスカッションを行っていく。

基準4 学修成果

就職に関しては、個別指導、配信システムの活用、企業によるガイダンス等による指導の徹底を計り、質に拘った就職指導を行っている。また担任が学生の相談に随時対応している。

理容師・美容師国家資格、CIDESCO 国際ライセンスについては、仕事に就くために必要な資格であり、その他の関連資格は、教養を身に付けたり就職活動を有利に進めることに有効な資格となっている。その意味において、受験者全員が合格できるように徹底した受験指導を実施している。

退学率の低減のために、担任は基より各科を挙げて一人一人の学生を大切にし、よりきめ細かな指導を行っている。また保護者との連絡を密にするため参観日を設けている。

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		④	③	②	①
4-28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
4-29	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1
4-30	退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
4-31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
4-32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

ソーシャルビューティー科の CIDESCO 国際ライセンスは、現在、企業先では重要性が十分に認識されていないため、企業やサロン訪問時に情報共有がさらに重要となってくる。

各種資格試験については、実技・筆記共に取得率の向上を目指して、教員が一丸となって対策を行っていく。

退学率については、通信科の退学率の改善に努めなければならない。

基準5 学生支援

就職に関する支援体制は、個別指導、就職セミナーの活用、企業によるガイダンス等による指導の徹底を計り、また、学校 OB, OG を招き卒業後の心構え等を伝えている。

また学生に対する経済的な支援体制としては学費サポートシステム（きんしん・オリコとの提携）や特別給付として特待生制度を設け整備されている。さらに、令和2年度から高等教育の修学支援新制度を実施している。

学生の健康管理は毎年4月に石川県成人病予防センターによる健康診断を行っている。

課外活動に対する支援体制は、ヨーロッパ、バリ、韓国研修制度を設け学生に案内している。

学生の生活環境への支援については、1人暮らし家賃補助、新幹線通学補助を行っている。また学生寮、アパート等を紹介する体制を整えている

三位一体の教育は本校の教育の特色として捉えており、保護者と適切に対応している。

理容師・美容師国家試験不合格者に対し学校独自の制度を設けサポートしている。

卒業教育として、通信修得者課程、レディースシェービングスクール、睫毛エクステンション講座を開設している。

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		④	3	2	1
5-33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
5-35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
5-37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
5-39	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
5-40	卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
5-41	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
5-42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	④	3	2	1
5-43	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

就職指導ツールとして「キャリアマップ」を導入し、学生の就職活動状況を可視化している。また企業と連携した就職ガイダンスを計画している。

基準6 教育環境

校舎全体の清潔感は、在校生の校内清掃からも保たれていると考えている。

校外実習は、1年次2年次に理容サロン・美容サロン・エステティックサロン等において計60時間の

実務実習が必修となっている。

防災対策に関しては、定期的に点検が行われ整備されている。また教職員と学生は災害等に備えて防災訓練を定期的実施している。

	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
6-44	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
6-45	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
6-46	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

本校は旧法に基づいて建設され、その後、新法に基づいて増改築を行ったが、教室、設備に関しては、不備が生じている。

基準7 学生の受入れ募集

高等学校進路指導部への訪問時の情報や進学業者を通じて集めた情報の共有を行っている。

学生募集に関しては、年間16回のオープンキャンパスをダイレクトメールでお知らせし、教育方針や授業内容の説明、施設見学、実習体験などを実施している。また、学校パンフレット、募集要項、学校ホームページ等において、資格取得状況・就職状況、学生納付金について情報提供を行っている。

学生納付金は、県内の競合校と比べ妥当なものとなっている。

	評価項目	適切…4	ほぼ適切…3	やや不適切…2	不適切…1
7-47	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みを行っているか	④	3	2	1
7-48	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
7-49	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1
7-50	学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

業界に本校を知ってもらう為のアプローチを行う。

基準8 財務

中長期的に学校の財務基盤は安定しているように思えるが、「国の政策」や「法改正」、「人口の推移」などの予測を含め、今後の動向を推測していかなければならない。よって、入学者の中長期的な募集活動を計画的に進めている。

予算・収支計画については、学校としての運営方針を基に予算・収支計画を策定し、必要に応じて補正予算も組み、理事会、評議員会、経営委員会の承認を得、執行している。

また、その執行状況は会計事務所の精査を受け、有効で妥当なものとなっている。

会計報告に対する監査は、私立学校法に基づき、本校外部監事2名により会計監査が適正に実施されている。

また財務情報は、学校ホームページで情報公開している。

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1			
		④	3	2	1
8-51	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
8-52	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
8-53	会計報告に対する監査が行われているか	④	3	2	1
8-54	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

【課題と今後の改善策及び計画】

教職員全体の意識改革を行い、必要以上の支出をなくし、効果的、計画的に経費削減に努める。

【特記事項】

運用資産と外部負債のバランスは安定している。事業活動収支計算書における経常収支差額は3年連続プラスである。

基準9 法令等の遵守

本校は、学校教育法、専修学校設置基準等の関連法令に基づき、学校法人化され、理容師・美容師養成施設指定規則等の関係法令を遵守している。

個人情報保護については、教職員会議等で注意喚起に徹し、インターネットに接続できる無線LAN環境においても個人情報の管理を徹底的に行い、情報漏えい防止に努めている。

自己評価を実施する時期は、原則として、毎年度6月とし自己点検・自己評価の結果に基づいて改善点と改善の手だてを明示し、明確となった事案については、内容をより精緻に整え改善すべき順に取り組みを行っている。自己評価結果については本校ホームページ上に公開している。

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
9-55	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
9-56	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
9-57	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
9-58	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

【課題と今後の改善策及び計画】

個人情報保護を含めた教職員への啓発活動については、より一層強化する必要がある。そのため、全教職員を対象とした勉強会を開催し、法令遵守を徹底するようお願いする。

【特記事項】

基準10 社会貢献・地域貢献

令和4年度から求職者支援制度（ハローワーク受付の離職者及び障害者に対して、再就職等に必要な知識や技能等の職業能力習得を支援するもので、パソコン教室等で3か月の研修期間を終えた研修生に対して、本校で職業訓練を1か月行ってもらう）の受け入れをしている。

また、本校の教育資源や施設を活用した社会貢献に関しては、他校への教職員の派遣、他校卒業生の理容師・美容師国家試験受験者指導の受け入れを行っている。

専修学校各種学校連合会主催の夏休み職業体験学びフェスタ（中学生、高校生対象）の体験講座も毎年開催している。

	評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1
10-59	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
10-60	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
10-61	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

【課題と今後の改善策及び計画】

学生ボランティア活動の支援においてさらに検討していく。

【特記事項】

学びフェスタ、インターンシップ、ワークワーク、理容組合とのクリーンキャンペーン（理容科）、日赤ボランティア（SB科）、医科大学病院ボランティア（SB科）、JCHO金沢病院ボランティア（SB科）

【学校評価・重点目標の設定】

重点目標① 学校が取り組む重点目標

入学者確保

学校の計画

学校の魅力や特色を明確に伝え、継続的なコミュニケーションを図り、高校生に認識してもらい、さらに興味を持ってもらうこと。その結果として、入学志願者が増加することを目指す。

取組状況(学校の説明内容)

・入学検討者に分かりやすく、丁寧な広報活動を実施することで、募集定員を満たせるように効果的な取組を行う。

・オープンキャンパスでは、教職員全員が一丸となり、取り組んでいく。

・SNS等の活用

重点目標② 学校が取り組む重点目標

学生への法令遵守強化

学校の計画

教職員及び学生へのコンプライアンス徹底

取組状況（学校の説明内容）

・個人情報の保持、守秘義務の徹底、SNSの気軽な投稿など
これらを遵守し、学生に指導していく

重点目標③ 学校が取り組む重点目標

関連分野業界との連携

学校の計画

- ・登録サロンとの取り組みを実施
- ・イベント、ボランティア等の参加を積極的に取り組む

取組状況（学校の説明内容）

- ・運動会、文化祭など学校行事への参加を促し、学生との交流の場を設け業界との親睦を高めていく
- ・外部委託のヘアメイクなど学生が参加可能な活動を受け入れる